

福生市「春の花いっぱい運動」 横田の有志 地域の美化に貢献 *Yokota personnel keep Fussa beautiful in Beautification Event*

May 15, 2024

By Senior Airman Jacob Wood
374th Airlift Wing Public Affairs

5月3日、福生市「春の花いっぱい運動」の一環で行われた市内の美化清掃ボランティア活動に、横田基地のメンバーと地元の住民が参加した。

福生市役所と毎年行っているこの共同事業に、米空軍、航空自衛隊、そしてその家族100人以上のメンバーが集まり、市内の道路沿いの瓦礫やゴミを拾い集めた。

第374通信中隊部隊ディプロイメント主任兼清掃活動の調整役エラディオ・アルセ技能軍曹は「地域の環境を綺麗に保つために協力し、良き隣人でありたい。有志は少人数に分かれ、福生ゲートから福生駅までの公園、道路、路地のゴミを拾い集めた」と述べた。

参加者は協力して、180ガロン(約681リットル)以上の可燃ごみと15ガロン(約57リットル)以上の資源ごみを集めた。活動範囲は2平方マイル(約5.2平方キロメートル)以上に及び、計10マイル(約16キロメートル)の区間のゴミを回収した。

第374通信中隊コンピューター・セキュリティ下士官担当官アーネスト・バン技術軍曹は「基地内外のコミュニティーに関心を持ち、行動することが大事だ。同じコミュニティーの一員として、環境は大事な生活の要素だ。この取り組みが、社会全体の意識向上に繋がればよいと思う」と話した。

参加者たちはいっぱいになったゴミ袋を持って福生駅近くの公園に集まり、それを集積して活動を終えた。

アルセ技能軍曹は「(清掃活動は)我々の地域への関心と、受け入れてくれている日本のコミュニティーへ感謝の気持ちの表れだ。地元には隣人同様に最も敬意を持って接することが大切だ」と語った。

